

利用例 - 服薬管理で困った場合 -



小規模多機能ぼやあ樹では、毎月、地域の病院や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護老人保健施設など、さまざまな機関の皆様よりご相談をお受けしております。

そこで、実際にぼやあ樹へご利用となられたケースの中から、在宅生活を継続するために必要となる、“服薬管理”に焦点をあてた例を紹介させていただきます。



Aさん: キーワード【一人暮らし + ぼやあ樹の看護師管理】

【ポイント】自宅での生活は希望しているが、一人暮らしのため、Aさんだけでは薬管理が難しい。

そのため、小規模を利用しながら、ぼやあ樹の看護師を中心とした服薬管理を実施。

	月	火	水	木	金	土	日
サービス	訪問 朝・昼1日2回	訪問 朝・昼1日2回	訪問 朝・昼1日2回	訪問 朝・昼1日2回	訪問 朝・昼1日2回	訪問 朝・昼1日2回	訪問 朝・昼1日2回
薬管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ・当日分の薬を自宅へ届ける。(朝・昼ともにその場で服用の見守り) ・朝の訪問時に夜の服薬が服薬できているか確認する。 ・昼の訪問時に当日の夕食後薬を渡す。 						

- ・ぼやあ樹専属の看護師にて、処方箋を1週間単位でセッティングして管理
- ・主治医の指示通り服薬されたかの記録管理の徹底



Bさん: キーワード【老々介護 + 家族とぼやあ樹で管理】

【ポイント】夫婦で自宅生活を継続したいが、お互いに記憶が曖昧なこともあり、薬管理は心配。

できるだけ夫婦で協力して生活したい希望があるため、全面ではなく一部の服薬管理をサポート。

	月	火	水	木	金	土	日
サービス	デイサービス 9~16	訪問 昼1日1回	デイサービス 9~16	訪問 昼1日1回	デイサービス 9~16	休み (利用なし)	休み (利用なし)
薬管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービス(月水金)は、ぼやあ樹にて看護師による与薬。 ・訪問(火木)は、薬カレンダーを確認して服薬ができているかの確認をする。万が一、服薬ができいない場合には主治医へ連絡して指示をもらう。 					<ul style="list-style-type: none"> ・ぼやあ樹から電話にて安否確認および服薬のチェック。万が一、異変などがある場合には自宅へ訪問する。 	

- ・ぼやあ樹専属の看護師にて、処方箋を1週間単位で薬カレンダーにセッティングする。
- ・処方箋には必ず日付を記入し、利用者本人とご家族が混乱しないようにする。
- ・主治医の指示通り服薬されたかの記録管理の徹底

ポイント!!

ぼやあ樹では、**利用開始前に必ず服薬管理の方法を、利用者本人・ご家族と話し合い、決定しています。**
利用開始後も、主治医の指示通りの確な服薬ができるよう、随時管理方法の見直しや改善を行なっています。